

プロセス産業向けシミュレータ

主催 分離技術会

協賛 化学工学会システム情報シミュレーション部会、化学工学会関東支部

化学、石油化学、石油精製などを代表とするプロセス産業では、プロセス設計や解析、運転検討、運転訓練などにシミュレータが広く使われています。国内プラントの競争力強化や温暖化対策でこれらシミュレータの活躍場面はますます増えるものと思われます。一方、情報技術は日進月歩で陳腐化も早く、新鮮な情報や新しい応用技術をウォッチしていくことは、これら産業に携わる技術者に求められています。そこで、これら産業に応用されるシミュレータを取り上げ、応用事例を中心とした講演会を企画しました。奮ってご参加ください。

なお、分離技術シリーズの1冊として、商用シミュレータを網羅的に取り上げ、豊富な事例を掲載した「プロセス産業向けシミュレータ」が7月に出版されます。参加いただいた方には、この書籍が1冊配布されます。本書に論文を書かれた方も講師にお願いしております。

日時 2010年8月3日(火) 10:00～17:10

会場 日本大学理工学部1号館 134教室

(東京都千代田区神田駿河台1-8 TEL 03-3259-0814)

JR 総武線・中央線 御茶ノ水駅、地下鉄千代田線 新御茶ノ水駅 徒歩5分

案内図 <http://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/index.html>

プログラム

ごあいさつ(10:00～10:10)

企画委員会

<総論>

1. プロセス産業向けシミュレータとその市場の歴史と概要(10:10～11:00)

(エプシロン) 南 一郎 氏

2. モデリングにおける物性データの重要性(11:00～11:50)

(応用物性研究所) 大場 茂夫 氏

(昼食)

<事例紹介>

3. 吸着プロセスシミュレータ(13:00～13:40)

(アスペンテックジャパン) 吉田 正裕 氏

4. 内部熱交換型蒸留塔(HIDiC)解析におけるシミュレータの活用(13:40～14:20)

(江守商事) 掃部 輝昭 氏

5 . 石油精製プラントにおけるプロセスシミュレーターの活用 (14:20 ~ 15:00)

(KBC プロセス・テクノロジー・リミテッド) 三浦 稔雄 氏

(休 憩)

6 . 腐食系の運転モニターリングとプロセスシミュレーション (15:10 ~ 15:50)

(ハネウェルジャパン) 米山 等 氏

7 . 3D バーチャルリアリティと厳密プロセスモデルを組み合わせた運転員教育シミュレータ

(15:50 ~ 16:30)

(インベンシスプロセスシステムス) 広浜 誠也 氏

8 . 薬品製造プロセスのモデル化、ビジュアル化、及び解析 (16:30 ~ 17:10)

(チョウドリ・ソフトウェア・サービス) 千代鳥 モーミンウッディン 氏
(千代田化工建設) 藤森 幹夫 氏

募集人数 80 名

参加費 会員・協賛団体会員 17,000 円、会員外 27,000 円、同時入会 22,000 円、
学生 5,000 円

参加費にはテキストおよび書籍「分離技術シリーズ」プロセス産業向けシミュレ
ータ」を含みます。なお、学生参加費には書籍は含みません。

参加費は前納にて郵便振替または下記銀行にお振込みください。

- ・郵便振替 00100-9-21052 口座名 分離技術会
- ・みずほ銀行 神田支店 普通預金 1010899 口座名 分離技術会

申込先 参加ご希望の方は申込用紙にご記入のうえ、下記事務局まで e-mail・FAX・郵
送にてお申込ください。

〒214-0034 川崎市多摩区三田 1-12-5-135 分離技術会 事務局

TEL : 044-935-2578 FAX : 044-935-2571 e-mail : jim@sspej.gr.jp

プロセス産業向けシミュレータ 参加申込書

氏 名			
勤 務 先			
所 属			
所 在 地	〒		
	TEL _____		FAX _____
	e-mail _____		
送 金 内 訳	郵便振替 ・ 銀行振込	請求書	要 ・ 不要
会 員 資 格	(正・維持・特別会員)・学生会員・協賛団体会員・会員外・同時入会		